

2017年7月26日、19人の障害者が殺害される前代未聞の事件が起きた

津久井やまゆり園事件を考える

2・26 大阪集会

講演 原 昌平

新聞記者／精神保健福祉士

*基調報告Ⅰ

小泉浩子 日本自立生活センター

*基調報告Ⅱ

西 定春 社会福祉法人すばる福祉会

*指定発言

ピープルファースト京都、ALSの本人、
精神障害者の本人ほか



日時：2017年2月26日（日）

14時00分～17時00分

場所：立命館大学大阪茨木キャンパス B棟3階

（〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150）

資料代 500円

7月26日、相模原の障害者施設で「障害者は生きていても仕方ない」という動機により約50名の障害者が殺傷される事件が発生しました。このような考え方は社会の中に根付いた障害者に対する差別意識のあらわれであると思います。2016年12月8日、「相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム」は最終報告書を取りまとめ、容疑者に対する措置入院の解除、退院後の監視が不十分であったかのように課題が示されました。そして再発防止の方策として、すべての措置入院者に対して退院後の計画を都道府県が作成し、保健所設置自治体が退院支援を調整することとされました。

主催 津久井やまゆり園事件を考える大阪集会・有志

連絡先：すばる福祉会（西宮市上大市5丁目1-8）

TEL: 0798-53-0122 Email: nishi-s@ml.musubaru.info

当日連絡先 TEL 080-6004-6848（桐原尚之）

共催 立命館大学生存学研究センター